



# 2013年7月号 農山村ネットだより

私たちの子や孫が住み続けたいと思う 帰りたいと思うそのような「山里」にしたい。訪れる人がまた来てみたいと思う 住んでみたいと思うそのような「山里」にしたい。そのような「山里」の山・川・里で自然にふれ山仕事をして野良仕事をして人と交わることが幸せだと思う。そんな輪（ネットワーク）を広げたい。

「とよた都市農山村交流ネットワーク」は、豊田市の農山村地域で「交流」というキーワードで地域の活性化をはかる活動をしている様々な個人や団体のゆるやかな集まりです。

## 7月のPICK UP!!

### セカンドスクール受入研修・交流会に参加しましょう

7月22日（月）午後6時から8時30分 拡大幹事会として実施します

杉ん子の里（農山村交流・中継センター）旧「杉本保育園」

豊田市杉本町三斗成1-3 問合せ090-5453-6411

子どもたちの田舎体験は楽しく感動のあるものとなりましょう。子どもたちをお客様扱いにするのではなく、わが子わが孫のように愛おしい想いで接することが大切です。そのためにも、有意義なホームステイのあり方、安全など心得を学び、病気ケガなど緊急事態への対処・連絡体制などをきちんと理解しておく必要があります。この道30年のベテラン西村文子さんの楽しいトーク、豊田市セカンドスクールホームステイと安全についてのマニュアル、みなさんの貴重な体験のお話しなど、とても豊かな内容の研修・交流会になると思います。

受入農家さんインストラクターさんはもちろん、ご協力していただける会員さん、機会があれば交流事業に参加しようとされる方の学習交流の場として、どなたもよい機会ですので是非ご参加ください。

（文：山本薫久）

### セカンドスクール、五ヶ丘小学校参加! 10月1日（火）～3日（木）

五ヶ丘小学校4年生の21人の子達が農家などにホームステイして「暮らし」を体験します。

五ヶ丘小学校で2回の合同検討会 五ヶ丘小学校の先生方と足助・旭の幹事会メンバーで話し合いをすすめています。地域の特色をもった「セカンドスクール日程表」を検討しました。合計6組でのホームステイ先、地域ごとの体験メニューを説明し、先生方には子どもの様子などを話していただきました。また、保護者・児童への説明会も実施しました。

（文：山本薫久）

### 150人を超えるセカンドスクール・フリー版も夏休みを中心に実施

「学校の行事として組むことが難しい。しかし、うちの小学校で希望する児童・保護者の要望にこたえられないか」という学校側のご意見もうけとめ、昨年度度から各地域会などで休校日に希望児童の農山村体験を対象にしたセカンドスクール「フリー版」も設けました。市教育委員会の協力で市内全小学校で配布、募集。稲武地域会、小原地域会、足助地域会、松平地域会、事務局企画で募集をかけています。現在のところ、短期間に500件以上の参加申込が殺到し、事務局がパニック状態になっています。下山地域会ではいままでのつながりを活かしたスイミングスクールなど団体募集などを進めています。

（文：山本薫久）

# 地域会からの便利なコーナー

旭、足助、稲武、小原、下山、松平の各地域会から活動の様子や企画のお知らせをお送りします。

## 小原 地域会

### 大きな交流エネルギー！！

文：西村自然農園 西村文字

毎年、不思議に思うのですが梅雨時にもかかわらず6月は来園者が多いのです。子ども会の旅行や塾の子どもたちの野遊び会、PTAの研修会など。今年は雨が少なかったので畑にはかわいそうでしたがお客様にはラッキーでした。まだ夏野菜も採れず、冬からの葉物、ネギも終わり、何十名もの人たちに食材を収穫してもらうことを考えると前日は眠れないほどの悩みがあります。でも、いつも野菜や自然の恵みに助けられ、楽しく体験をして、お腹いっぱいおいしいご飯を食べていただく事ができるのを感謝しています。西村自然農園は今年は夫婦2人と研修生1人でやっていますが、ふつうは30～50人ものお客様だともう少し人手が必要になりますが、いつも参加して下さるご両親や指導者の方達に助けいただき有意義に過ごしていただける事を大変ありがたく思っております。都市農村交流は人と人との交流です。農村側の施設や物の提供、内容の充実はもちろんですが、少ない物や人でも真心を込めて、工夫をして対応すれば、相手の心に響き、大きな交流エネルギーになっていくのだと確信するようになりました。今年の夏がんばります！

### 「共存の森ネットワークー東海チーム」の若者が活動中！！

文：あすけ里山ユースホテル 小川光夫

毎月一回、椿立自治区内で「共存の森ネットワークー東海チーム」の若者たち（高校生・大学生・社会人）が、地元の方たちと一緒に、棚田の田植えや竹林整備で汗を流しに来てくれます。「聞き書き甲子園」に参加した若者たちが中心となって、田舎の豊かさや自然の大切さを東海地区の高校生や大学生に呼びかけ、5月の活動には17人が集まってくれました。おかげでこの地域も少しずつですが、環境が良くなり交流も深まっていくことと信じています。皆さんに感謝！！です。東海チームでは、この活動に参加したい若者を募集しているようですので、興味がある方は下記までご連絡ください。

お問合せ：NPO法人共存の森ネットワーク  
TEL：03-6432-6580 mori@kyouzon.org 担当 芳川  
ホームページ：http://www.kyouzon.org

## 足助 地域会



## 下山 地域会

### 6月18日（土） 香恋の里 三河湖ウォークラリー

梅雨入り後のウォークラリー、毎回空模様が気にかかるイベントですが、朝から晴天歩くと汗ばむほどでした。（ただし前日の夕方はドシャ降り、半日かけて引いた駐車場ライン、参加者の誘導ラインは全て消えたザンネン）今回、三河湖竣工50周年記念事業の位置付けで50にちなんだゲームや、豊田市青少年センターの協力で婚活ウォーキングを企画したり、新たな試みもありました。（その後の結果が楽しみです。）

それと何と言っても三河湖のキャラクター「五平マン」の御披露目、当日の中日新聞の豊田版に掲載されたせいか、かなりのファミリーが写真を撮っていて子供も大人も皆笑顔で大喜び、今後いろんなイベント等にも「五平マン」は出没しますのでみなさん可愛がって下さいね！今回参加者819名、スタッフ総勢80余名、毎回多くのボランティアスタッフには感謝、感謝です。山間地域の人口減少が加速する中、今後も地域のイベント、祭礼行事等が続けられる様願って「田舎力バンザイ！！」



文：手づくり工房 山遊里  
店長 新実一俊

# 松平 地域会

## 松平地域会の様子

文：くららこと安藤さち子・犬飼智子

地域会で主に動いているのは私たち二人(+α)です。みんなで集まると美味しいものも集まって来て、いつもパーティーにようです。そして話題も豊富。みんなでイベントに出かけたりもするので、その時のことや、最近作った酵素ジュースのこと、前回のセカンドスクールの打ち上げはどうするか(まだやってません)等々……。そうこうしている内に次の企画がやってくるという状態。こんな私たちですが、松平の方々ともっとつながりたいと思っています。農山村の暮らしにある手仕事などに興味のある方、私たちのお仲間になりませんか？



## 千年持続学校「住まいづくり講座」上棟式が行われました

文：鈴木正晴

# 旭 地域会

千年持続学校は、若い人の移住を応援する団体です。平成23年9月から「住まいづくり講座」を開講し、豊田市太田町で活動してきました。30名を越える受講生が夢みて取り組んできた手作りの家が、上棟の運びとなり、6月30日、上棟式が行われました。千年持続学校、地元太田町、関係団体・機関など、この講座を支える皆さん、80名ほどが集まりました。参加者がまずびっくりしたのは、「板取の家」の西隣に出現した建物。前日、千年持続学校の受講生の皆さんによって大部分が建てられました。一抱えもある棟木、太い垂木、厚い屋根の板、間伐材からは想像できない重厚さに圧倒されました。当日、屋根上で、ツメの作業をする受講生たちの軽快な作業姿。さすが！講座の成果。これにもびっくりしました。ごった返すほどの人だかりの中、午前11時30分過ぎ、これまで大工仕事を指導してきた河合定泉さんが棟梁となって神事が始まりました。「こんなの初めて見る」そんな声があちこちから漏れ聞こえます。儀式は伝統ののっとなって進み、いよいよ待ちに待った餅投げです。子どもも大勢詰めかけ、大声を上げて楽しんでいました。手に一杯の餅やお菓子を見せながら「こんなに拾ったよ。」と満足そうでした。入居が決まっている受講生の下野夫妻の思いを実現しようと、農山村ネット、M-easy、太田町等々、ほんとに多くの人たちが応援して手作りで準備してきました。昔から伝えられてきた伝統を洗い出し、案内状づくり、振る舞いの飲食物、引き出物のバケツの準備など。ハシラモチ、スミモチ、投げモチは、3日前にみんなで作りました。上棟式を通し、入居者のご努力はもちろんですが、地元住民が移住を受入、それを支える各種の団体が見事に融合して、今があることを痛感しています。末永く持続することを願い、今後も努力していこうと思えました。



# 稲武 地域会

## さあ夏休みだ！熱帯夜のない稲武へ行こう！

文：山里 Cyafe 仁熊信子

今年のいなぶのホタル祭り、6月29日(土)は新聞に載ったせいか、今までにない盛況。ホタルより間違いなく人間が多くて、つり橋も人がぎっしり。少々ホタルを見るには風情がない・・・がっかりされていないといいのですが。翌日、別のスポットに行くと誰もいなくて、ホタルを独占！？そんな所にホタルの保存にがんばっておられる地元の方が、「イノシシが水路を荒らしているの、今から爆竹をならす。びっくりしないでね」とやって来られました。こうして地道にがんばっておられる方がいて、ホタルを見られることに改めて感謝。

さて、夏は稲武のよさが最も感じられるときです。7月のブルーベリー狩り、8月3日にはとよた生協の組合員ご家族90名がトウモロコシ狩りに、8月6日からは2泊3日のセカンドスクール、8月15日は稲武祭り！そしてオオキツネノカミソリの開花とたくさんの人が稲武のよさを改めて感じ

てくれることと思います。

また夏休み親子体験として、山里ちゃふえでは平日に鶏をしめて、さばいて、おいしく食べる「命をいただく」体験を行っています。人数が集まれば随時開催しますのでお問い合わせください。

問合せ先 山里ちゃふえ 0565-83-3003

あとうれいご報告が一つ。2010年、2011年と2回、稲武で婚活パーティを行いました。それぞれで1組ずつ、合計2組がこのたび結婚されました！一生懸命がんばったかいはあったかこちらもほっとしました。おめでとうございます！



第1回目は10名の参加で、まずは自己紹介後、昼食用“ツタンカーメン豆”の収穫や野草摘みを行いました。こちらの畑は不耕起で、『豆と麦』『キュウリとブロッコリー』のようにコンパニオンプランツの力によって土や苗がもつ力を最大限に引き出すという方法で栽培されていました。穫りたてキュウリの甘かったこと！摘みたての野草の天ぷらと、皆さんで作った柿の葉寿司に伸びる手が止まらなかったこと！心もお腹も大満足の1日でした。第2回目は自家製小麦でナンと夏カレー！だそうです、次回が待ち遠しいです。

(羽田弥来さん投稿)



## ネットワーク会員募集中

山里から知恵を学び、山里の豊かな自然や文化を次の世代に受け継ぎ、山里での暮らしを大切に生きる。山里でいろいろな交流をしてみたい方、昔ながらの知恵を学ばせてくださる方、花木や昆虫などの物知りさん、体験の受け入れをしてみようと思われている方、お手伝いをしてみたいという都市部の方、どんな方でも参加できます。

皆さんと一緒に楽しみましょう！

年会費 500 円 ネットだよりを隔月発送します。

## 編集後記

今年の初夏は肌寒いですね。なんとかもう少し雨が降ってくれるといいのですが。

この夏休みはセカンドスクールフリー版が各地で開催されます。山里の気持ちいい空気、おいしいご飯、新鮮なお水、あたたかい人々、子どもたちに思う存分楽しんでもらいたいです。みなさんもぜひこの夏は山里へGO！！(戸田)



## 発行元

とよた都市農山村交流ネットワーク 世話人代表 山本薫久

〒444-2816 豊田市杉本町三斗成 1-3 tel&fax 0565-68-1113

mail : nosanson@hm10.aitai.ne.jp HP : <http://www.toyotasanson.net/>

